COLUMN — 業務効率化 | 株式会社DnD

SNSが続かない会社に共通すること

AIでコンテンツ運用を
半自動化する3つのアプローチ

株式会社DnD — dnd-inc.jp

この資料の要点

- SNS運用が途切れる根本原因は、毎回ゼロから始まる「ネタ出し→文章作成→投稿管理」の構造にある
- AIを使った半自動化の3アプローチ：①ネタ・アイデアの自動収集、②AIによる下書き生成と編集効率化、③投稿スケジュール管理の自動化
- 月2〜3時間の投資で週2〜3回の継続的な発信が可能になる「月次まとめ作業デー」の設計

なぜSNS運用は「また止まった」を繰り返すのか

SNS運用を始めた中小企業の多くが、6ヶ月以内に更新が止まります。理由として挙げられるのは「時間がない」「ネタが尽きた」「反応が薄い」ですが、本質的な原因はひとつ——**毎回ゼロから生産する構造**になっていることです。

記事・投稿1本を作るために、テーマを考え、下書きを書き、校正し、画像を選び、ハッシュタグを決めて投稿する工程を本業の傍らで続けることは、仕組みがなければほぼ不可能です。

> *SNS運用を「手作業」から「仕組み」に変えない限り、担当が変わるたびに止まる構造は変わりません。AIはその仕組みを作る最も手軽な手段です。*

アプローチ①：ネタ・アイデアのAI自動収集

週1回、ChatGPTやClaudeに「今週の〔業界名〕に関する話題のニュースや動向を5つ挙げて、SNS投稿に活用できるテーマに変換して」と指示するだけで、1週間分の投稿候補が数分で生成されます。

さらに精度を上げるには、自社の強み・ターゲット顧客・過去の好評投稿をまとめた「会社紹介プロンプト」を一度作成して毎回冒頭に貼り付ける習慣が重要です。

既存コンテンツからの展開

提案資料・ブログ・社内マニュアル・成功事例など、すでに社内にある素材からSNS投稿を展開する方法も有効です。「この資料の中で顧客が最も知らなそうな情報を3点抽出し、X向けの短い投稿にして」という指示で、ネタ不足の悩みを根本から解消できます。

アプローチ②：AIによる下書き生成と編集効率化

「投稿のテーマ」「プラットフォーム」「想定読者」「文字数」「トーン」の5点を指示することで、プラットフォームに合った下書きが数秒で生成されます。

ブランドトーンの維持

AIへの指示に「自社のトーンを定義したブランドガイド」を含めることで、生成文章が自社らしさを保ちます。担当者が5〜10分で確認・修正するだけで投稿できる品質が目標です。

アプローチ③：投稿スケジュール管理の自動化

BufferやHootsuiteのような予約投稿ツールと生成AIを組み合わせることで、「月初に1ヶ月分の投稿を一括で作成・予約し、あとは自動配信される」サイクルが実現します。

月次まとめ作業デーの設計

月1回（2〜3時間）のまとめ作業デーで、①ネタ出し→②下書き生成・修正→③スケジュール予約を完結させます。毎日・毎週SNSのことを考える必要がなくなり、月2〜3時間の投資で週2〜3回の継続的な発信が可能になります。

3つのアプローチの始め方

- **今すぐ：**アプローチ②の「AIで下書き生成」から始める。今日からChatGPT/Claudeに投稿文を作らせて、修正してから投稿するだけ
- **1ヶ月後：**Bufferなどの予約投稿ツールを導入し、1週間分まとめて設定する習慣を作る
- **3ヶ月後：**月次まとめ作業デーで翌月分を完結させるサイクルに移行する

SNS運用の仕組み化・AI活用について相談する

株式会社DnDでは、コンテンツ生産体制の構築から社内ツール連携まで、中小企業の実情に合ったサポートをご提供しています。

https://dnd-inc.jp/contact.html